



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



- Mount Hakusan Biosphere Reserve
- Biosphere Reserve since 1980
- Man and the Biosphere Programme
- ユネスコエコパーク



日本ユネスコ
エコパーク
ネットワーク

Japanese
Biosphere Reserves
Network



白山ユネスコエコパーク

Mount Hakusan Biosphere Reserve

白山ユネスコエコパークと その活動

白山ユネスコエコパーク協議会事務局

目 次

1. ユネスコエコパークとは
2. 白山ユネスコエコパーク
3. 白山ユネスコエコパーク協議会
4. 今後に向けて



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



- Mount Hakusan Biosphere Reserve
- Biosphere Reserve since 1980
- Man and the Biosphere Programme
- ユネスコエコパーク



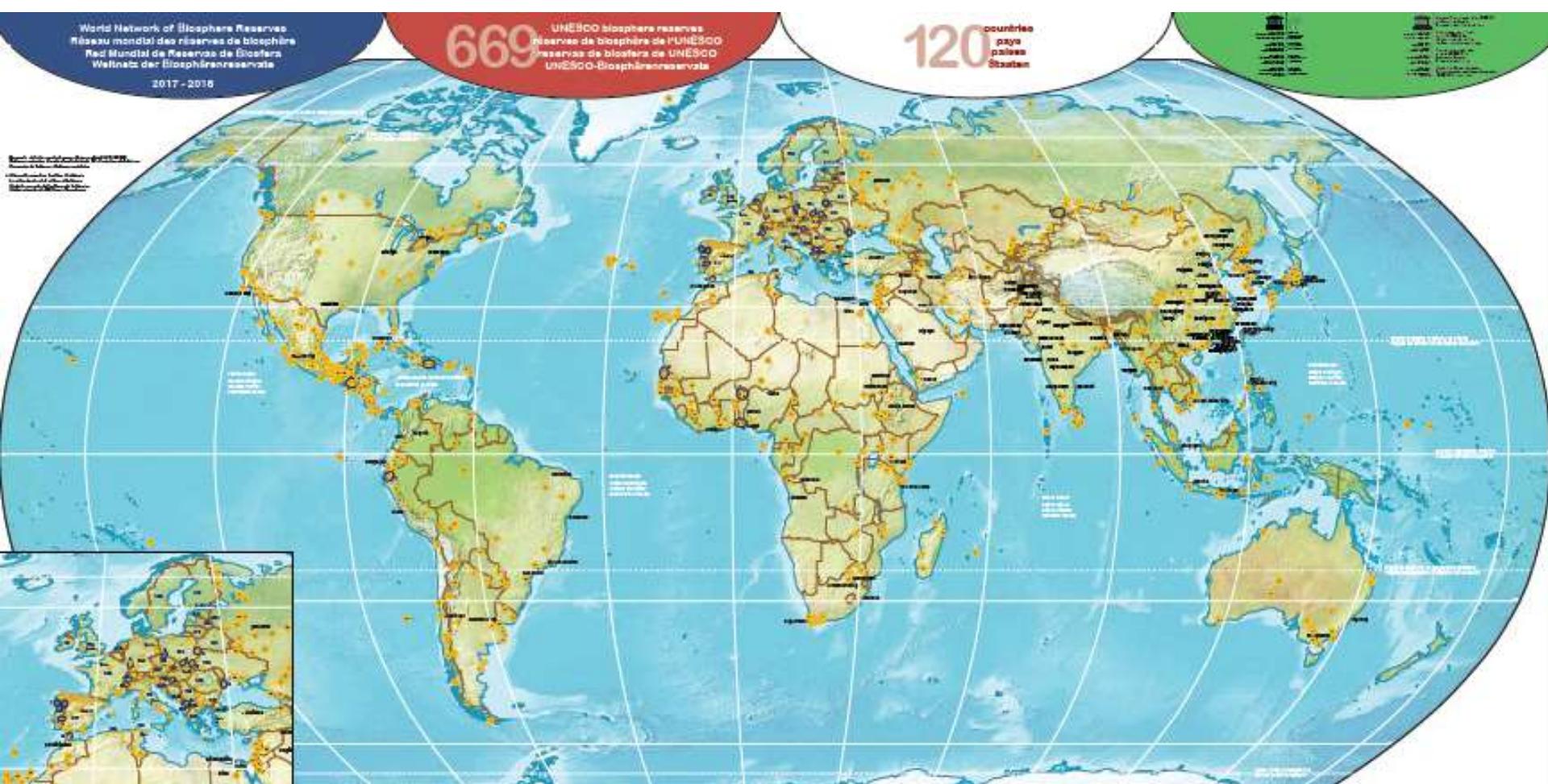
日本ユネスコ
エコパーク
ネットワーク

Japanese
Biosphere Reserves
Network

1. ユネスコエコパークとは？



世界のユネスコエコパーク



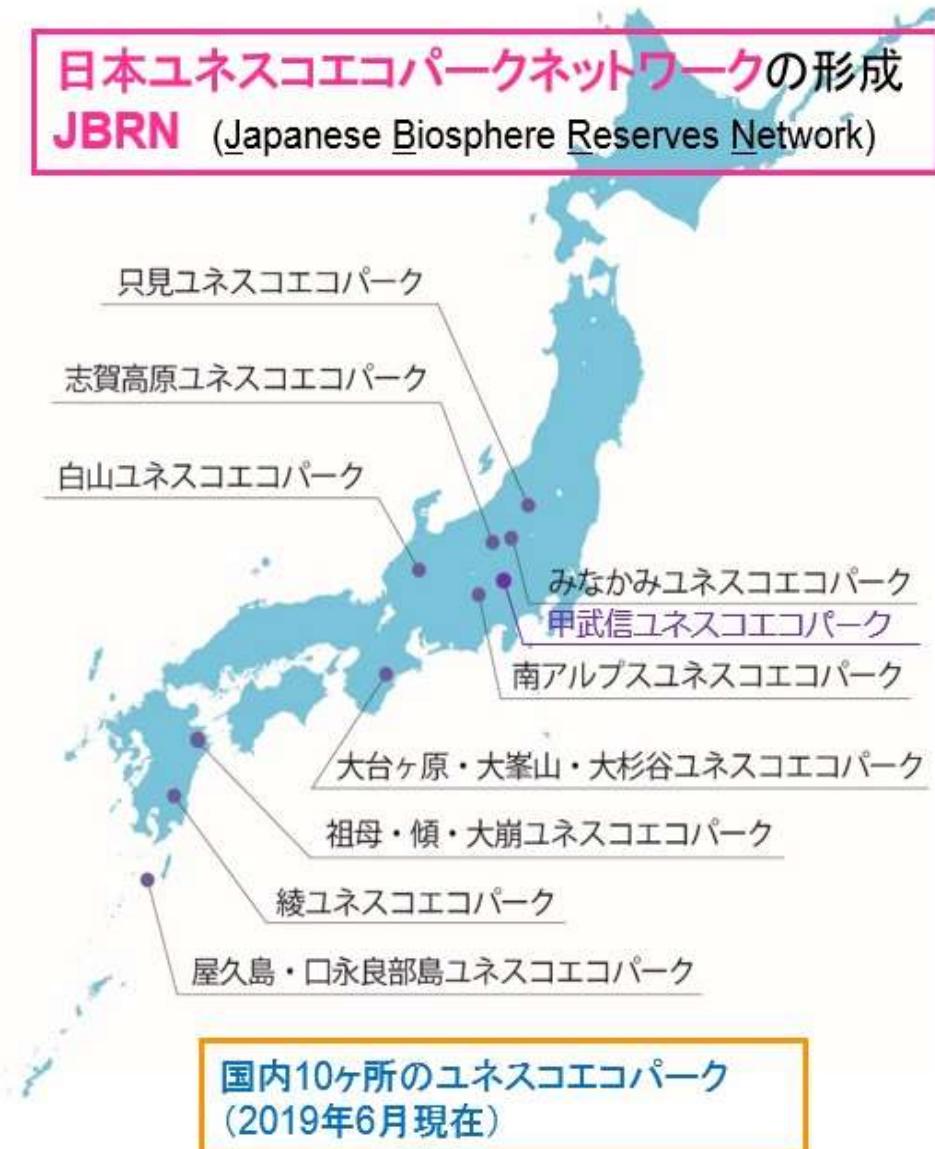
©UNESCO

122ヶ国669地域（2018.07現在）

日本のユネスコエコパーク

登録年	名称
1980年	志賀高原(しがこうげん) 2014年に拡張
	白山(はくさん) 2016年に拡張
	大台ヶ原・大峯山・大杉谷(おおだいがは 2016年に拡張
	屋久島・口永良部島(やくしま・くちのえら (2016年に拡張)
2012年	綾(あや)
2014年	只見(ただみ)
	南アルプス(みなみあるぷす)
2017年	祖母・傾・大崩(そぼかたむきおおくずれ
	みなかみ
2019年	甲武信(こぶし)

日本ユネスコエコパークネットワークの形成
JBRN (Japanese Biosphere Reserves Network)





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



- Mount Hakusan Biosphere Reserve
- Biosphere Reserve since 1980
- Man and the Biosphere Programme
- ユネスコエコパーク



日本ユネスコ
エコパーク
ネットワーク

Japanese
Biosphere Reserves
Network

2. 白山ユネスコエコパーク



白山ユネスコエコパークのエリア

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同局発行の1:2万5千分の1地図を用いた。(地図番号: 平成22年版 地図番号: 1372-GISMAP32841号)

136°30' 0"E

137° 0' 0"E

137°30' 0"E

- 4県7市村にまたがる
4 prefectures
7 municipalities

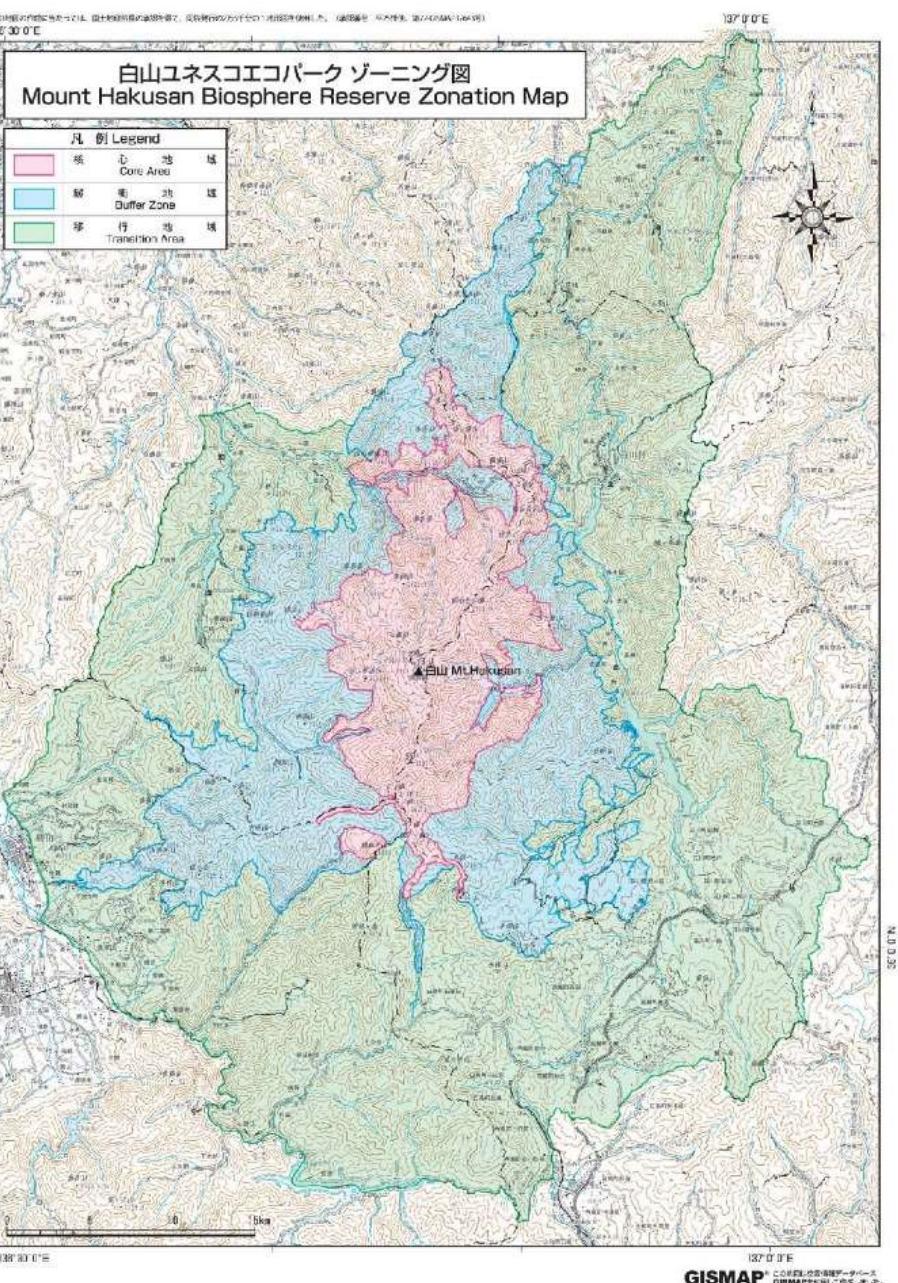
- 面積: 199,329ha
山岳・山村地域
- 人口: 約16,000人

白山
(2,702m)

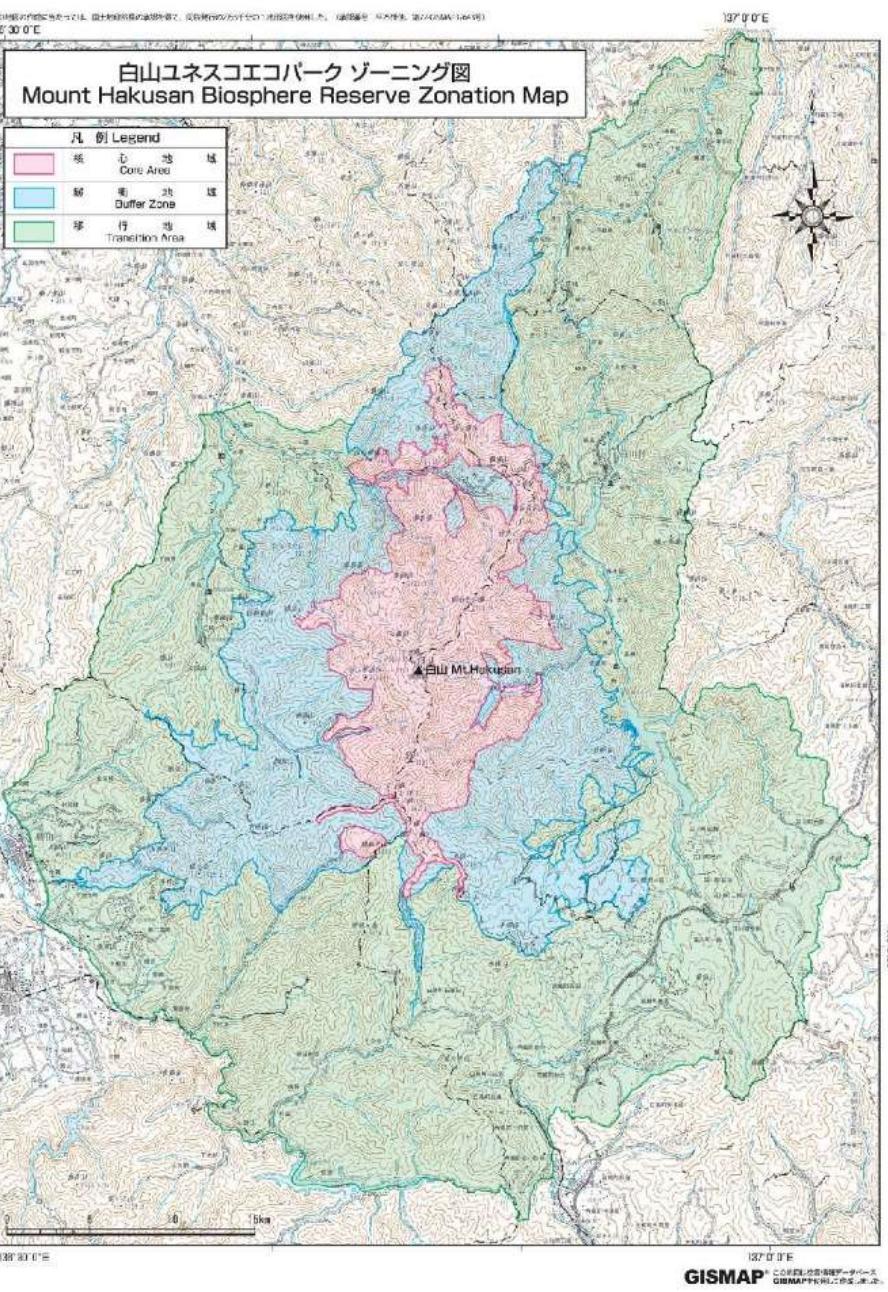
凡例 Legend

県境	Prefectural Border
市・村境	City and Village Border

- 庄川水系
- 長良川水系の上流部
- 九頭竜川水系の右岸
- 手取川水系の上流部



- **核心地域 (22,120ha)**
 - **白山国立公園**
 - 特別保護地区
 - 第1種特別地域
 - **白山森林生態系保護地域**
 - 保存地区
- **緩衝地域 (45,660ha)**
 - **白山国立公園**
 - 第2種特別地域
 - 第3種特別地域
 - **白山森林生態系保護地域**
 - 保全利用地区
 - **白山山系縁の回廊**
 - 上記に接続する保護林



- 移行地域 (131,549ha)

- 南砺市
 - 五箇山地域（平・上平）
 - 白川村
 - 高山市
 - 莊川地域
 - 郡上市
 - 高鷲地域
 - 白鳥地域のうち北濃・石徹白
 - 大野市
 - 九頭竜川流域の右岸側
 - 勝山市
 - 九頭竜川右岸の山間部
 - 白山市
 - 牛首川と尾添川の流域
(核心地域・緩衝地域を除く)



1.高山 / 2.世界有数の豪雪地帯





3.高山植物



4.ブナ林

5.山村の生活や文化





6.白山を源とする4つの水系／7.信仰を集めた山





8.白山の恵みを活かし、大切に守ってきた人々



白山ユネスコエコパークの歩み

1980 ユネスコエコパークに登録(核心・緩衝のみ)

30年間の眠り

2012 BR担当者会議@東京

(文部科学省による働きかけ)

2014 白山ユネスコエコパーク協議会の設立

拡張登録に向けた取り組み

2016 拡張登録(核心・緩衝・移行地域)

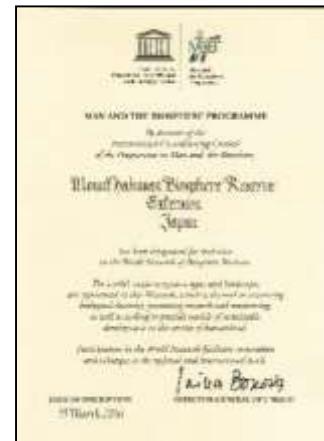
2017 管理運営のための計画づくり

2019 白山ユネスコエコパーク管理運営計画の策定

管理運営計画の運用開始



1980登録証



2016登録証

第28回MAB計画国際調整理事会



日本代表団とユネスコ関係者

- 2016/3/18-19
- ペルー・リマ
- 白山の拡張登録申請
を承認



白山



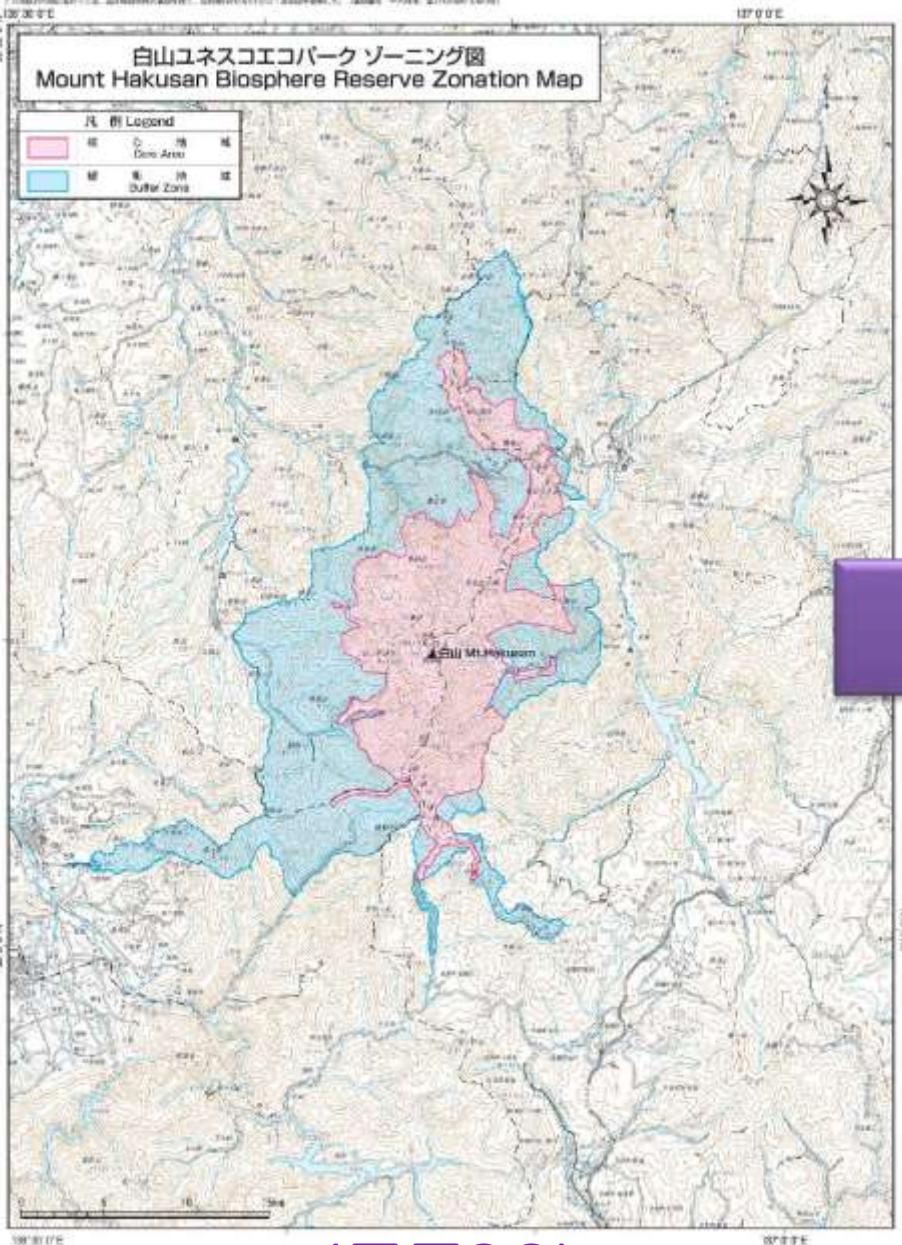
屋久島・口永良部島



大台ヶ原・大峯山・大杉谷

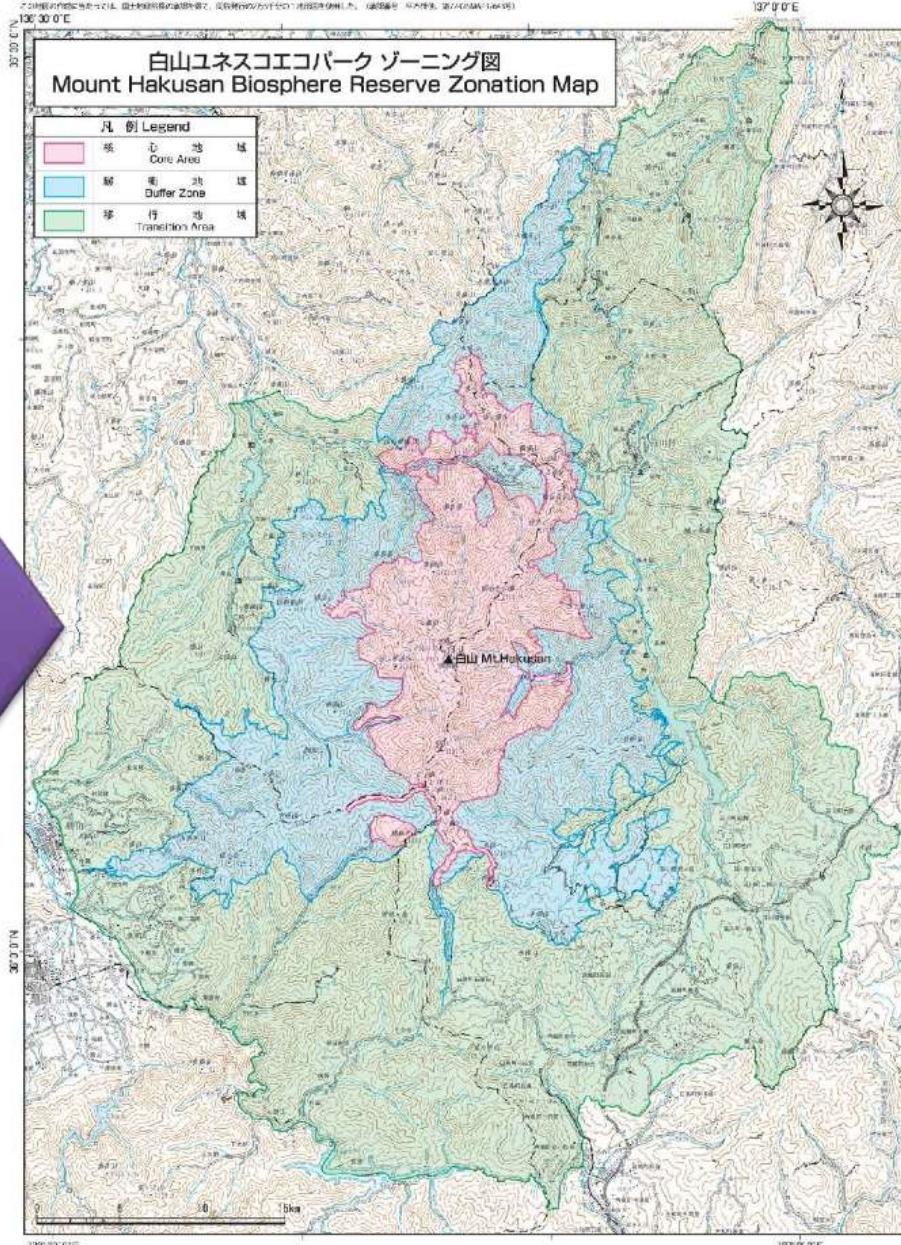
上記3写真は国連大学OUIK提供

拡張前(1980年)



47,700ha

擴張後(2016年)



199,329ha

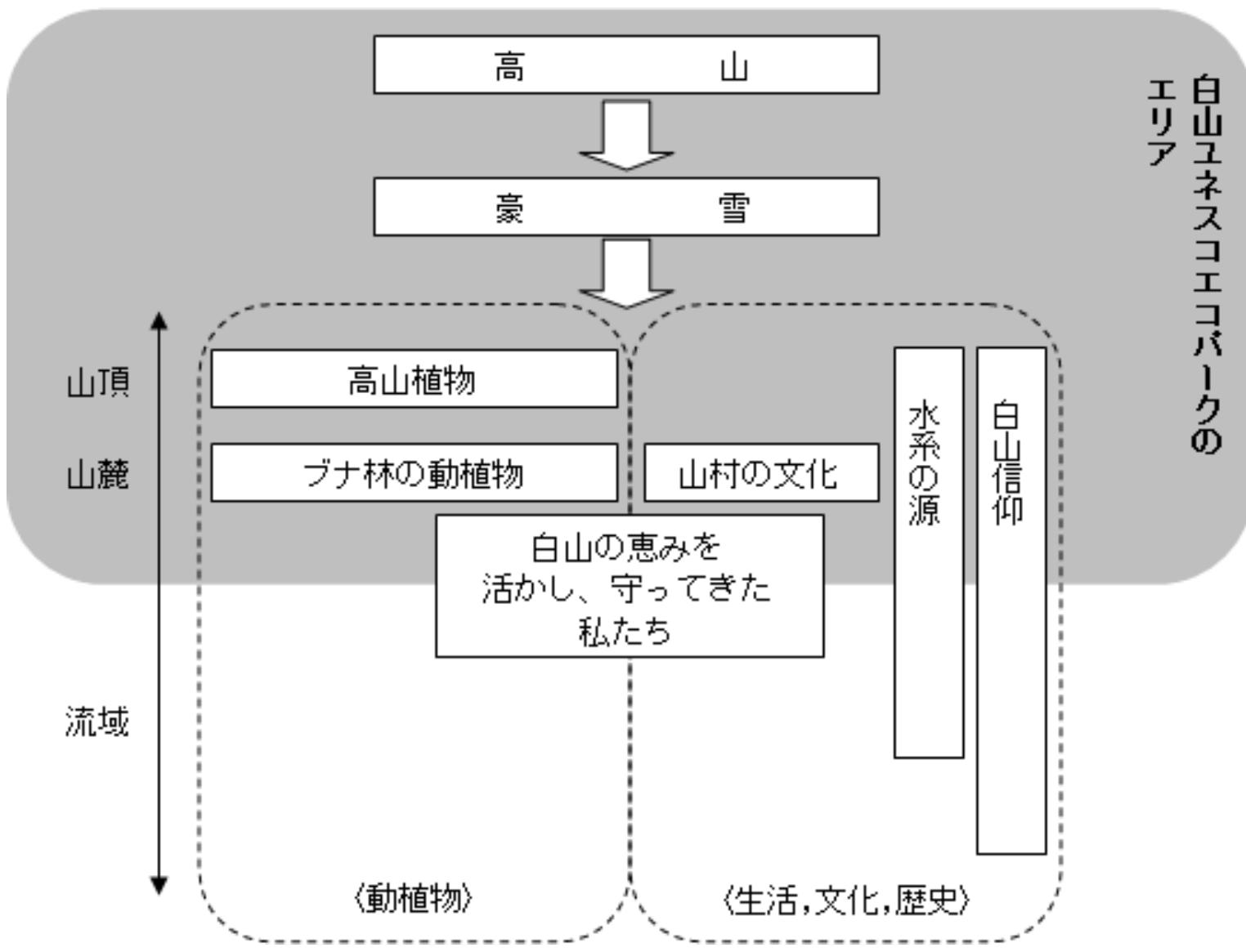
拡張登録記念シンポジウム



- 開催日 2016/5/10
- 参加者 270名余り
- ユネスコ本部よりNoëline Raondry Rakotoarisoa氏を基調講演に迎える

一部写真国連大学OUIK提供

白山ユネスコエコパークの特徴





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



- Mount Hakusan Biosphere Reserve
- Biosphere Reserve since 1980
- Man and the Biosphere Programme
- ユネスコエコパーク



日本ユネスコ
エコパーク
ネットワーク

Japanese
Biosphere Reserves
Network

3. 白山ユネスコエコパーク協議会



協議会の概要

- 設立日 2014年1月27日
- 目的 白山ユネスコエコパークの保全と活用を推進するとともに、関係する自治体と機関及び団体が連携し、持続可能な発展に資すること
- 事業
 1. 自然環境の保全と適正な利用の促進
 2. 経済発展
 3. 環境教育や調査研究
 4. 情報発信及び普及啓発
 5. 関係自治体及び関係団体との連絡調整と連携
 6. 国内外のユネスコエコパークに関する機関及び団体との連絡調整と連携
 7. その他

協議会組織図

協議会（総会）

Council

幹事会

Executive Board

関係自治体及び
関係団体
ワーキンググループ

Relevant Municipalities
and NGOs Working Group

核心地域と緩衝地域の
管理者
ワーキンググループ

Core Area and Buffer Zone Managers
Working Group

学術部会
Academic Group

事務局

Secretariat

協議会（総会）の構成

- 委員(12名) ⇒規約の別表に基づく
 - **7市村** (南砺市・白山市・大野市・勝山市・高山市・郡上市・白川村)
 - **4県** (富山県・石川県・福井県・岐阜県)
 - **NPO法人 環白山保護利用管理協会**
- 参与(15名) ⇒会長の選任に基づく
 - 日本MAB計画委員会に属する**学識経験者**2名
 - **国連大学**サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(OUIK)
 - 3馬場の**神社** (白山比咩神社・平泉寺白山神社・長滝白山神社)
 - **関係省庁**の**地方機関** (地方農政局×2・森林管理署×4・国交省の事務所×2・地方環境事務所×1)

協議会の組織

- ・幹事会

- 4県7市村の幹部職員、協会事務局長により構成
- 協議会に関わる重要事項の協議・調整（年3回程度）

- ・関係自治体・関係団体ワーキンググループ

- 4県7市村及びNPO法人環白山保護利用管理協会の実務担当者より構成
- 事業の具体的な協議・調整（月1回程度）

- ・学術部会

- 白山に関わる多分野の学識経験者より構成
- 学術的な面からの助言等

協議会の組織

- **核心地域と緩衝地域の管理者ワーキンググループ**
 - 環境省・林野庁・4県の実務担当者より構成
 - 2ゾーンの管理に関する情報共有・調整（年2回程度）
- **事務局**
 - 会長所在自治体（現在は白山市）に設置
 - 事務局長・事務局次長・職員を配置
 - 協議会のすべてに関する事務処理・調整（常設）

構成員

- ・ 委員 市村長・県課長・協会長
- ・ 参与 学識経験者・各団体や部署の代表者
- ・ 幹事 市村課長・県課長補佐・協会事務局長等

会長

白山市長

副会長

白川村長・勝山市長

監事

富山県課長・石川県課長

代表幹事

勝山市課長

これまでの主な活動

- 各会議の開催
 - 関係自治体・団体WGでは現地見学会を併催
- 拡張登録の申請(～2016.03)
- ネットワーク活動
 - JBRNの活動への参画
 - 世界のMAB関係者とのコミュニケーション
- 普及啓発活動
 - リレーシンポジウムの開催(2014.11～2015.06)
 - 啓発資材の制作

関係自治体及び関係団体 ワーキンググループ



効果

- ・自治体間の連携強化
- ・地域の魅力の再発見

～2015年度の主な活動 国内ネットワークへの参画



2013.10 第1回ネットワーク会議@只見



2014.11 第2回ネットワーク会議@白山



2015.10 第3回ネットワーク大会@志賀高原

- 第2回ネットワーク会議を主催
- 再編議論をリード
- 白山BR会長が監事に就任
2017年度～副会長
- 2019年度～会長

～2015年度の主な活動 世界ネットワークへの参画

2015.06 MAB計画国際調整理事会@パリ



日本ユネスコ国内委員会提供

2015.10 東アジアネットワーク会議@志賀高原



2016.03 ユネスコエコパーク世界大会@リマ



飯田義彦氏(OUIK)提供

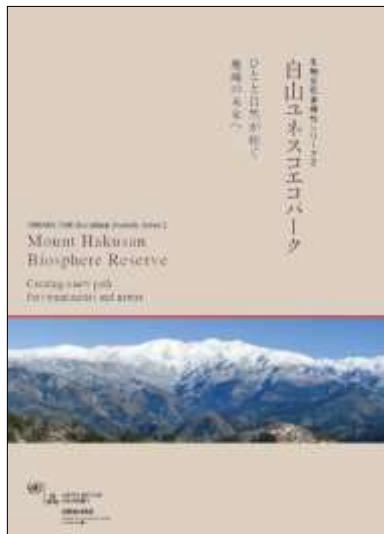
- Face to Face
コミュニケーション
- 白山の魅力発信
- 主体的参画

2016年度の主な活動 ネットワーク活動

◆アジア型研修プラットフォームの創出事業

- ・国連大学いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（OUIK）との共同事業
- ・平成28年度政府開発援助ユネスコ活動費補助金（文部科学省）事業

1. 第4回JBRN大会 (7/25-26)
2. アジアのBR現地実務者対象現地研修会 (10/23-29)
3. ブックレットの発刊



2016年度の主な活動 ネットワーク活動・視察

2016.7 第4回JBRN大会
@東京・国連大学本部



2016.10 ユネスコ本部Flavia Schlegel氏
視察対応@白山BR一円



2016.10 アジアのBR現地実務者対象
現地研修会@白山BR一円 他



2016.10 北デボンBR視察@イギリス

2017年度の主な活動 ネットワーク活動・視察



2017年度の主な活動 ネットワーク活動

◆ 2017 MAB Youth Forum

- 9/17~23@イタリア
- はじめての開催 • 白山BRから2名参加

➤ Aida
Mammadova
さん

➤ 金沢大学国際
機構留学生セ
ンター／特任
准教授



金沢大学



2017 MAB YOUTH FORUM

- 近藤佳奈さん
➤ 石徹白地区地域
づくり協議会



©UNESCO



©UNESCO



2018年度の主な活動 ネットワーク活動

◆ ユーラシア地域をまたぐユネスコエコパーク大学教育の共同開発

- ・ 実施主体：金沢大学
- ・ 国連大学OUJK、NPO法人白山しらみね自然学校との共同事業
- ・ 平成30年度政府開発援助ユネスコ活動費補助金（文部科学省）事業

1. 教育事例集の発刊
2. 国際フォーラム及び現地研修会（7/21-22）
3. ロシア・ベラルーシの現地視察（9/16-22）他



2018年度の主な活動 ネットワーク活動・教育活動

2018.7 ロシア、ベラルーシのBR関係者現地研修会



2018.9 ロシア、ベラルーシ現地視察



金沢大学開講科目「ユネスコエコパーク・ジオパーク」



- 第15回東アジアネットワーク会議@カザフスタンへの参加
(2018.5)
- 第12回東南アジアネットワーク会議@フィリピンへの参加
(2019.3)

2019年度の主な活動 ネットワーク活動

2020.1JBRN運営ワーキンググループ



2020.1JBRN 研修会



2020.1JBRN現地視察



- JBRN運営WG・研修会への参加 (2020.1)
- JBRN現地視察への参加 (2020.1)

2019年度の主な活動 ネットワーク活動・教育活動

2019.7ロシア文化交流現地視察



2019.7石川～ロシア大学交流コンソーシアム
設立記念シンポジウム



2019.7石川～ロシア大学交流コンソーシアム
設立記念シンポジウム



- 金大ロシア文化交流現地研修会（白峰）への参加（2019.7）
- 石川～ロシア大学交流コンソーシアム設立記念シンポジウムへの参加（2019.7）

2019年度の主な活動

ネットワーク活動・普及啓発活動

2018.11 白山BRフェア セレモニー ミニ植樹



2018.11 白山BRフェア エコワークショップ



2018.11 白山BRフェア セレモニー 会場



- 第1回白山ユネスコエコパーク
フェア（イオン御経塚ショッピングセンター 2019.11）

啓発資材の制作

WEBサイト

ロゴマーク

H29.5/8発表



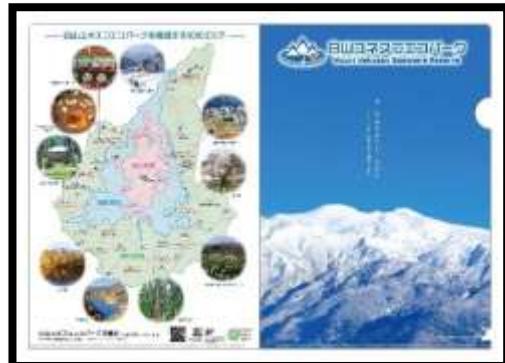
展示パネル



缶バッヂ



シール



のぼり旗

クリアファイル

白山ユネスコエコパーク

世界に誇る白山、人と自然が協調で地域の未来へ

ホーム ブログ 枠 ユネスコエコパーク 白山ユネスコエコパーク エリア情報 DATA

白山ユネスコエコパーク

Mount Hakusan Biosphere Reserve

自然と
調和

H29.3月公開

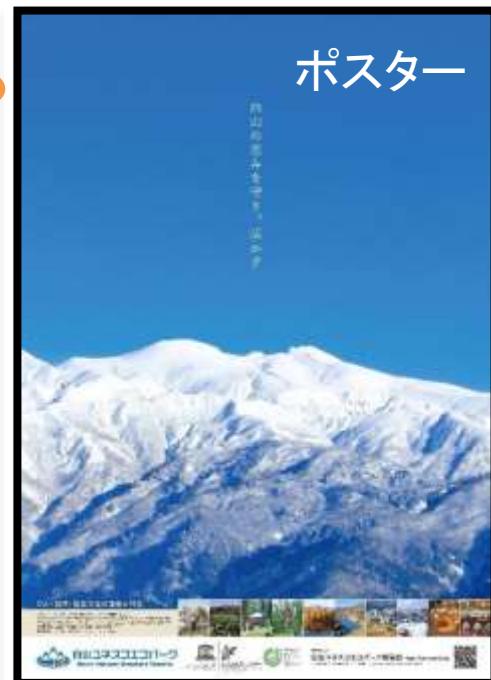


ポスター

日英2種類



パンフレット





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



- Mount Hakusan Biosphere Reserve
- Biosphere Reserve since 1980
- Man and the Biosphere Programme
- ユネスコエコパーク
-



日本ユネスコ
エコパーク
ネットワーク

Japanese
Biosphere Reserves
Network

4. 今後に向けて



白山ユネスコエコパーク
Mount Hakusan Biosphere Reserve

今後に向けて①



持続可能であること

- ・白山を守り、活かす暮らしを続けていけるか
- ・10年後、50年後の姿は・・・？



管理運営計画の運用

「ユネスコエコパークのために何をするか」
でなく、

ユネスコエコパーク = 持続可能な地域づくりのためのツール

今後に向けて②



ネットワーク・連携

- ・環白山地域、国内外のBR、ユース、国、民間…



白山ユネスコエコパーク
Mount Hakusan Biosphere Reserve

多様な関係者との連携



JBRN（日本ユネスコエコパークネットワーク）

×

公益財団法人 イオン環境財団



2017年8月7日に「**国内初**」となる連携協定を締結（JBRN大会にて）

【連携事項】

- (1) 生物多様性の保全
- (2) 持続可能な資源利用と発展
- (3) ユネスコエコパークを利用した環境教育
- (4) ユネスコエコパークの価値と知見の啓蒙

日本ユネスコエコパークネットワーク
・公財イオン環境財団連携協定調印式



今後に向けて③



世界に向けて

- ・ロゴマークの活用、SDGs、国際的な学び合い…



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Mount Hakusan Biosphere Reserve
Biosphere Reserve since 1980
Man and the Biosphere Programme
ユネスコエコパーク

世界へ学びを提供し、世界から学びを得る

SDGsとは・・・

「Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)」の略称

国連加盟193か国が2030年までに
達成するために掲げた17の目標
(2015年9月 国連サミット採択)





福井県と京都府の県境から望む靈峰白山
手前は若狭湾(距離は約200km)

石川県



富山県



福井県



岐阜県



ご清聴ありがとうございました